

第 17 回 JADECOM 学術大会にて公衆衛生委員会セッションを開催しました

第 17 回 JADECOM 学術大会の初日、2025 年 10 月 18 日（土）に、公衆衛生委員会セッション「多職種で紡ぐ特定保健指導～施設と地域、両者の幸せのために～」を開催し、4 施設からの発表およびフロアとの意見交換を行いました。

セッションのテーマは、本学術大会のテーマである『多職種で紡ぐ地域包括ケア～地域での実践と人材育成～』と合わせ、特定保健指導の円滑な実施においても必須となる多職種連携に焦点をあて、各施設で取り組んでおられる内容やその成果について発表していただきました。発表後、創意工夫のポイントや課題解決の方策について参加者との活発な意見交換が行われ、学びの多い非常に有意義な会となりました。

協会顧問の塚原太郎（公衆衛生委員会委員代表）からは「地域医療振興協会は、地域医療の確保と質向上と併せて、地域住民の健康増進に貢献するミッションも持つ。特定保健指導はまさにこれにふさわしい事業である。」とコメントされました。最後に、座長の宇田英典（公衆衛生委員会委員長）は、「医療機関は病気の診断と治療を生業とするが、並行して病気を作らない、あるいは減らす取組を進めることも必要。医療に予防の視点を取り入れ、さらにそれを収益につなげるというのは若干ハードルが高いかもしれないが、これからのトレンドになる。既に着手している施設はそのノウハウを提供し、これから行う施設はそれを咀嚼、モディファイして推進のモチベーションにつなげてほしい。」と、締めくくられました。

本セッションの様子はこちらからご覧いただけます。ぜひご覧ください。

URL : https://youtu.be/R2jxKtPv_HI



西吾妻福祉病院
市川 希美さん



座長 宇田 英典 先生



村立東海病院
小坂部 成生さん
植田 早苗さん



あま市民病院
中島 歓真子さん



東京北医療センター
戸谷 詩織さん
岡本 千秋さん



協会顧問
塚原 太郎 先生

◆ 当日のプログラム

第 17 回 JADECORE 学術大会「多職種で紡ぐ地域包括ケア～地域での実践と人材育成～」

No.2-3 公衆衛生委員会セッション

「多職種で紡ぐ特定保健指導～施設と地域、両者の幸せのために～」

日時・会場：

2025 年 10 月 18 日（土）16：30 - 18：00 砂防会館 3 階 立山

プログラム（敬称略）

座長 地域医療振興協会 公衆衛生委員会 委員長 宇田 英典

16:30～16:35 はじめに

座長挨拶・セッションの趣旨説明

公衆衛生委員会 委員長：宇田 英典

16:35～16:40 中間アンケートの結果報告

地域医療研究所 川畑 輝子

16:40～16:55 村立東海病院 「当院における特定保健指導の取り組み」

医事課：小坂部 成生（おさかべ しげお）課長

栄養管理室：植田 早苗（うえた さなえ）管理栄養士

16:55～17:10 西吾妻福祉病院 「特定保健指導実施に向けた多職種連携」

栄養室：市川 希美（いちかわ のぞみ）管理栄養士

17:10～17:25 あま市民病院 「多職種と連携して成功させる生活習慣改善プログラム」

ヘルスプロモーションセンター：中島 歆真子（なかしま よしこ）保健師

17:25～17:40 東京北医療センター 「みんながハッピーになる特定保健指導」

健康管理センター：戸谷 詩織（とや しおり）保健師

岡本 千秋（おかもと ちあき）保健師

17:40～17:58 全体を通した意見交換

17:58～18:00 終わりの言葉

公衆衛生委員会委員・協会顧問：塚原 太郎

公衆衛生委員会委員長：宇田 英典

※各施設、約 8 分の発表後、質疑応答の時間を 5 分程度設けています。皆様からの活発なご発言をお待ちしております！